

原著論文

フランシェとサヴァチェが記載した神奈川県産双子葉植物の基準標本

Plant Type Specimens from Kanagawa, Japan,
Taxonomically Described by A. R. Franchet and P. A. L. Savatier: Dicots

田中徳久¹⁾・勝山輝男¹⁾・大西 亘¹⁾

Norihisa TANAKA¹⁾, Teruo KATSUYAMA¹⁾ & Wataru OHNISHI¹⁾

Abstract. Plant type specimens and related materials, repositied in the herbarium of Museum national d'Histoire naturelle in Paris (MNHN, P), are taxonomically re-examined. Those specimens had been collected by French naval surgeon P. A. Ludovic Savatier (1831-1891) and studied by A. R. Franchet (1834-1904). Most of the specimen images are shown in the botanical specimen database of the herbarium. But registration information about the collection is not useful for Japanese botanists. Additional complementary data obtained in this investigation, such as collection date, locality, collector, etc., are registered together with the specimen images in the botanical database of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History. Type materials of fern and monocot groups were reported by Tanaka et al. (2015). Type materials of dicot groups are here reported with taxonomical comments.

Key words: Ludovic Savatier, P. A., Franchet, A. R., type materials, Kanagawa Prefecture

はじめに

本報は、田中・勝山・大西（2015）のシダ植物と単子葉植物に続き、『Enumeratio plantarum in japonia sponte crescentium, accedit determinatio herbarum in libris japonicis So-Mokou Zoussets xylographice deloneatarum』（Franch & Savatier, 1873-1875, 1877-1879; 以下日本植物目録と表記）に記載された神奈川県を基準産地とする植物の基準標本とその関連標本について、日本植物目録に引用されている標本のラベルに記載されている採集地や採集年月日、採集者名、採集者の標本番号などの標本の属性情報、後に貼付された同定票の

情報などについて、双子葉植物に関して報告するものである。

ポール・アメデ・ルドヴィック・サヴァチェ Paul Amedee Ludovic Savatier (1831-1891; 以下サヴァチェと表記) はフランス海軍の一等外科医で、江戸幕府が開設した横須賀製鉄所の医官として 1866 年 (慶応 2 年) 7 月に来日した。サヴァチェは勤務の合間に横須賀や横浜、鎌倉、箱根などで植物を採集し、多くの日本産植物をフランシェと共著で新種記載した。サヴァチェの事績や採集した標本については、大場 (1996, 2003)、西野・Porak (2011)、竹中 (2013) に詳しい。

なお、標本調査は、田中・勝山・大西ほか (2015) 同様、2014 年 5 月 27 日～6 月 6 日、フランス国立自然史博物館 Museum National d'Histoire Naturelle (MNHN) の植物標本庫 (P) を訪れ、サヴァチェが来日中に神奈川県で採集した植物のうち、基準標本となっている植物について実施した。

¹⁾ 神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 449
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History
499 Iryuda, Odawara, Kanagawa 250-0031, Japan
田中徳久: tanaka@nh.kanagawa-museum.jp

標本調査と画像の収集

標本調査と画像の収集については、田中・勝山・大西（2015）同様であるが、一部、再掲する。

標本調査は、小崎（2001）より、フランシェとサヴァチェが記載した植物を抽出し、実施したが、一部、小崎（2001）の目録から漏れていたものを日本植物目録の記載から追加した。

画像の収集は、Nikon 製デジタル一眼レフカメラ D800E と AF-S NIKKOR 28mm f/1.8G によりより行い、得られた標本画像から、ラベルに記されている内容を判読し、標本の属性情報（学名、採集地、採集年月日、採集者名、採集者の標本番号、標本庫の標本番号など）をデジタルデータ化した。この標本の属性は、収集した画像とともに、神奈川県立生命の星・地球博物館の収蔵資料管理システムの維管束植物画像（KPM-NX）に登録した。

結果と考察

以下にフランシェとサヴァチェが日本植物目録で記載した神奈川県を基準産地とする植物の基準標本とその関連標本について、小崎（2001）や神奈川県植物誌調査会（2001）で神奈川県を基準産地とするとされている双子葉植物 122 分類群に関して報告する。このうち日本植物目録に採集者の標本番号などが明記されているものが 84 分類群あり、うち該当標本を示したものが 49 分類群、関連すると思われる標本を示したものが 18 分類群、標本を示せなかったものが 17 分類群であった。一方、引用されている標本情報が不足していたり標本が引用されていないものが 38 分類群であり、うち関連すると思われる標本を示したものが 18 分類群、標本を示せなかったものが 20 分類群であった。なお、採集者の標本番号などが明記されているが関連する標本を示せなかった 18 分類群のうち、*Epilobium pyrricholophum* Franch. & Sav.、*Salix eriocarpa* Franch. & Sav.、*Hypericum hakonense* Franch. & Sav. の 3 分類群の学名は、現在も正名である。なお、今回の調査では標本を確認できなかったが、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. β. *fimbriata* Franch. & Sav (Savatier, No. 374, P01819320) や *Pimpinella calycina* Maxim. ex Franch. & Sav. (Savatier, No. 312, P02496733) などのようにフランス国立自然史博物館で公開している標本データベース (<http://science.mnhn.fr/institution/mnhn/search> ; 以下 MNHN-DB と表記) に属性や標本画像が公開されているものもある。

標本目録

凡例

1. 目録の配列は基本的に日本植物目録の該当種の初出の順とした。
2. 各種の見出しは、日本植物目録の見出しを基本とし、種番号、学名（学名中の種小名の一文字目は小文字に、命名者名の“et”は“&”に表記を統一した）および出典（日本植物目録の掲載頁）とした。
3. 各種の記述は、“Hab”の内容をフランス語のまま抜粋したもの（“”内に記した）、今回確認した日本植物目録で引用されている標本の属性情報（採集地、採集年月日、採集者名、採集者の標本番号、標本庫の標本番号）、本報での図番号（本報で標本画像を示したもののみ）、コメントの順で記した。サヴァチェ以外の採集者名の記載がある場合は、Savatier と併記した。なお、2014 年の標本調査時に P の標本番号が貼付されておらず、未登録であった標本について、その後、MNHN-DB 上で、標本番号が確認されたものは、標本番号も示し、その後に MNHN-DB を付した。
4. コメント中の正名、異名の記述は、神奈川県植物誌調査会編（2001）や米倉・梶田（2003）を参考にし、一部は著者の考えを示した。また、標本に貼付されている同定票の記入者名（日本語名など）や学名（属名や命名者名）は情報を補った。
5. 本報で標本画像を示したものは、同定やラベルの記載内容についてコメントしたものと MNHN-DB に未登録と思われるものに限った。
6. 本文中に示した標本庫の機関略号 P は、フランス国立自然史博物館植物標本庫を示す。

29. *Ranunculus vernyi* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 8 (1873), 2(2): 266-267 (1878)

“Hab. in scrobibus, ad vias: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n.23). Fl. Sept.”

Yokoska, 1867, Savatier, s.n., P00171119 (Fig. 1); Yokoska, Savatier, No. 23, P00171120 (Fig. 2).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 23) 1 シートを確認した。この標本 (P00171120, Fig. 2) には 1954 年の原寛の “*Ranunculus vernyi* Franch. & Sav. (not *Ranunculus cantonensis* DC)” の同定票ほか貼付されている。また、この他、関連すると思われる横須賀で採集された標本 (P00171119, Fig. 1) 1 シートも確認した。これらの標本は、*Ranunculus silerifolius* H.Lév. var. *silerifolius* (Syn. *Ranunculus ternatus* Thunb. var. *querpaertensis* (H.Lév.) Ohwi ; ヤマキツネノボタン) であった。また、その他、“*Ranunculus pensylvanicus* L.

var. *vernyi*”と記された標本 (Yokoska, Savatier, s.n., P00171121) や “form. *vernyi*” と記された標本 (Yokoska, Savatier, s.n., P00171123) も見出した。*Ranunculus vernyi* Franch. & Sav. (ケキツネノボタン) は日本植物目録の 1 巻 8 頁では記載を伴っておらず、2 巻 266-267 頁では削除され、*Ranunculus ternatus* に含まれている。

140. *Arabis yokoscensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 34 (1873), 2(2): 279 (1878)

“Hab. in umbrosis collium: Nippon media, prope Yokoska, ubi cum *A. sagittata* mixta crescit. (Savatier, n.84). Fl. April.”

Yokoska, Savatier, No. 84, P00720149.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 84) 1 シートを確認した。この標本には 2000 年の Ihsan A. Al-Shehbaz の “*Arabis hirsuta* (L.) Scop.” の同定票が貼られており、ラベルには “Holotype” と記され、“Type” のラベルも貼付されている。この標本は、田中・大西・勝山 (2015) でも取り上げられている。*Arabis yokoscensis* Franch. & Sav. は、*Arabis stelleri* DC. var. *japonica* (A.Gray) F.Schmidt. の異名とされるが、*Arabis hirsuta* (L.) Scop. subsp. *nipponica* (Franch.) Kitam. (ヤマハタザオ) であった。

141. *Arabis sagittata* DC. var. *nipponica* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 34 (1873)

“Hab. in sepibus et saxosis umbrosis: Nippon media, frequens circ Yokoska (Savatier, n.83)”

Yokoska, Savatier, No. 83, P00720150; *ibid.*, P00720151; *ibid.*, P00720152; *ibid.*, P00720153; *ibid.*, P00720154; *ibid.*, P00720155; *ibid.*, P00720156.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 83) 7 シートを確認した。このうち 4 シートの標本 (P00720151, P00720152, P00720155, P00720156) には 2000 年の V. Bourguignon による “Type” の同定票が貼付され、1 シートの標本 (P00720150) には “Isotype”、2 シートの標本 (P00720153, P00720154) には “Type” のラベルが貼付されている。なお、これらのうち 2 シートの標本 (P00720155, P00720156) のラベルには、“var. *japonica*” と記されている。*Arabis sagittata* DC. var. *nipponica* Franch. & Sav. は、*Arabis hirsuta* (L.) Scop. (ヤマハタザオ) の異名である。

146. *Cardamine tanakae* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 36 (1873)

“Hab. in Japonica, Loco non indicato, ex Tanaka (Savatier, n.77). Nippon media, in Hakone

(Maxim.).”

Savatier, No. 339, P06651985

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n.77) は見出せなかったが、ラベルに “Iwa tagharashi” と記されている採集地不明の標本 (P06651985) 1 シートを確認した。*Cardamine tanakae* Franch. & Sav. ex Maxim. in Bull.Acad. Imp. Sci. St. Petersburg, 18(3): 280 (1873) (マルバコンロンソウ) は現在も正名である。

152. *Dontostemon dentatus* (Bunge) Ledeb. β. *glandulosus* Maxim. ex Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 37 (1873)

“Nippon media, propé Odawara, ad viam Tokaïdo dictam (Savatier, n.85).”

Odawara, Savatier, No. 85, P05412321; *ibid.*, P05412322; *ibid.*, P05412323.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 85) 3 シートを確認した。この標本は、田中・大西・勝山 (2015) でも取り上げられている。*Dontostemon dentatus* (Bunge) Ledeb. var. *glandulosus* Maxim. ex Franch. & Sav. (ネバリハナハタザオ) は、*Dontostemon dentatus* (Bunge) Ledeb. (ハナハタザオ) から区別されないこともある。

168. *Viola patrinii* DC. α. *triangularis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 41 (1873)

“Hab. in umbrosis insulae Parry (Savatier, n.102).”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 102) は見出せなかったが、MNHN-DB では、2 シートの標本 (Savatier, s.n., P02141110; P02141111) が Type とされている。*Viola patrinii* DC. var. *triangularis* Franch. & Sav. は、*Viola mandshurica* W.Becker var. *triangularis* (Franch. & Sav.) M.Mizush. (アツバスミレ) の基礎異名である。

193. *Silene gallica* L. var. *brandtii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 47 (1873), 2(2): 293 (1878)

“Hab. in locis cultis: Nippon media, ad Yokoska (Savatier, n.120). Fl. Jun. Sept.”

Yokoska, Mai 1868, Savatier, No. 120, P05019170 (Fig. 3).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 120) 1 シートを確認した。この標本は *Silene gallica* L. であるが下位分類群は同定できなかった。田中 (2016) は、*Silene gallica* L. var. *gallica* (シロバナマンテマ ; Yokoska, Mai 1869, Savatier,

No.118, P05019176) および *Silene gallica* L. var. *quinquevulnera* (L.) W.D.J.Koch (マンテマ; Yokoska, Mai 1868, Savatier, No.119, P05019174) を報告している。*Silene gallica* L. var. *brandtii* Franch. & Sav. は、*Silene gallica* L. の異名とされている。

207. *Cerastium vulgatum* L. β . *glandulosum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 50 (1873), 2(2): 295 (1878)

“Hab. in insulâ Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.137); in monte Kuruma Yama legit Rein (id., n.3675); circa Niigata legit Vidal (id., n.2688, 3031). Yeso, ad Hakodate (Maxim.; Savatier).”

日本植物目録に引用されている標本は見出せなかった。小崎 (2001) は、*Cerastium glomeratum* Thuill. (オランダミミナグサ) ? としているが、*Cerastium fontanum* Baumg. subsp. *triviale* (Spenn.) Jalas var. *angustifolium* (Franch.) H.Hara (ミミナグサ) である可能性もある。

446. *Lathyrus messerschmidii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 106 (1873), 2(2): 326 (1878)

“Hab. in dumetis et fructicetis: Kiousiou, prope pagum Iwajama kutsi (Buerger). Nippon meida, ad Yokoska (Savatier, n.289) et alibi, loco non indicato, ex Keiske. Yéso prope Hakodate (Small). Fl. Aug. Sept.” ; “= *Vicia unijuga*. — Cf. Supra.”

Yokoska, Savatier, No. 289, P02959524; ibid., P06806230.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 289) 2 シートを確認したが、これらの標本のラベルには、“*Orobis lathyroides* DC” と記されている。*Lathyrus messerschmidii* Franch. & Sav. は日本植物目録の 2 巻 326 頁では *Vicia unijuga* A.Braun (ナンテンハギ) に修正されている。*Lathyrus messerschmidii* Franch. & Sav. と *Orobis lathyroides* DC は、*Vicia unijuga* A.Braun (ナンテンハギ) の異名とされている。

499. *Stephanandra tanakae* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 332-333 (1878); *Neillia tanakae* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 121 (1873)

“Hab. in Japonicâ, loco non indicato, ex Tanaka (Savatier, n.338)” , “Hab. in tractu Hakone; ad pedem montis Fudsi yama prope Kameida (Savatier, n.338bis). Fl. sub medio Junii.”

Kameide, Savatier, No. 338bis, P 未登録 (Fig. 4); Fudsi yama, 1873, Savatier, No. 338bis, P 未

登録 (Fig. 5).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 338bis) 2 シートを確認した。この 2 シートの標本は P の標本番号が貼付されておらず、未登録の標本であると思われるが、“Isotype” の同定票が貼付されている。また、この他、採集者の標本番号が記されていない標本 (Kameide, Savatier, s.n., P03375729) 1 シートも見出した。なお、今回は標本を見出せなかったが、MNHN-DB では別の 1 シートの標本 (Fudzi yama, Aout, 1873, Savatier, No. 338bis, P00234096) が Holotype とされている。これらの標本の採集地は神奈川県内でない可能性もあるが、少なくとも隣接地であると思われるので、特に取り上げた。*Stephanandra tanakae* Franch. & Sav. (カナウツギ) は現在も正名である。

509. *Rubus hakonensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 124 (1873), 2(2): 333-334 (1878)

“Hab. in umbrosis regionis montanae: Nippon media, in jugo Hakone (Savatier, n.344).”

Hakone, Savatier, No. 344, P00755264; Hakone, Mai 1871, Savatier, No. 344, P00755265.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 344) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00755264) には “Holotype” のラベルが貼付され、もう 1 シートの標本 (P00755265) には “Isotype” のラベルが貼付されている。*Rubus hakonensis* Franch. & Sav. (ミヤマフユイチゴ) は現在も正名である。

(514). *Rubus palmatus* Thunb. β . *remotifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 334 (1878)
“Circa Yokoska legit Dr Savatier.”

Yokoska, Savatier, s.n., P00755442.

日本植物目録には採集者の標本番号が明示された標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変種名 “var. *remotifolius*” が記されている横須賀で採集された標本 (P00755442) 1 シートを確認した。この標本は *Rubus palmatus* Thunb. var. *coptophyllus* (A.Gray) Kuntze ex Koidz. (モミジイチゴ) であった。*Rubus palmatus* Thunb. var. *remotifolia* Franch. & Sav. は、*Rubus palmatus* Thunb. var. *coptophyllus* (A.Gray) Kuntze ex Koidz. の異名とされている。

530. *Fragaria indica* Andrews β . *wallichii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 129-130 (1873)

“Hab. ad margines silvarum, circa Yokoska

(Savatier, n.357).”

Yokoska, Savatier, No. 357, P03147293; *ibid.*, P03147294 (Fig. 6).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 357) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P03147294, Fig. 6) のラベルには “*Duchesnea fragarioides* DC. var. *minor*” と記されている。*Fragaria indica* Andrews var. *wallichii* Franch. & Sav. は、*Duchesnea chrysantha* (Zoll. & Moritz) Miq. (ヘビイチゴ) の異名とされている。

(533). *Potentilla chinensis* Ser. α . *micrantha* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 338, 339 (1878)

“In montibus Hakone et circa Yokoska legit Savatier.”

1877, Dickens, P03338354, Yokoska, Savatier, s.n., P03338373.

日本植物目録には採集者の標本番号が明示された標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変種名 “ α . *micrantha*” が記されている標本 2 シートを確認した。また、記入者は判読できなかったが、1916 年に “var. *micrantha*” と同定された横須賀で採集された標本 (Savatier, No. 362, P02228350) 1 シートも確認した。さらに、箱根で採集された標本 1 シート (Savatier, s.n., P03338374) も見出したが、そのラベルには “ α . *micrantha*” と “ ϵ . *ramos*” の 2 つの変種名が書かれていた。*Potentilla chinensis* Ser. var. *micrantha* Franch. & Sav. は、*Potentilla chinensis* Ser. (カワラサイコ) の異名とされている。

(533). *Potentilla chinensis* Ser. β . *hirtella* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 338-339 (1878)

“Circa Odawara et Yokoska haud infrequentem legit. Dr Savatier.”

Yokoska, Savatier, No. ? (判読不可), P03338372 (Fig. 7), Yokoska, Savatier, s.n., P03338375, Odawara, Savatier, s.n., P03338377.

日本植物目録には採集者の標本番号が明示された標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変種名 “ β . *hirtella*” が記されている標本 3 シートを確認した。これらの標本は、採集者の標本番号が記されているが確認できなかった横須賀で採集された標本 (P03338372, Fig. 7) 1 シート、採集者の標本番号が記されていない横須賀で採集された標本 (P03338375) と小田原で採集された標本 (P03338377) 各 1 シートである。*Potentilla chinensis* Ser. var. *hirtella*

Franch. & Sav. は、*Potentilla chinensis* Ser. (カワラサイコ) の異名とされている。

(533). *Potentilla chinensis* Ser. γ . *concolor* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 338, 339 (1878)

“Circa Yokoska rarior.”

Yokoska, Savatier, s.n., P03338355.

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。*Potentilla chinensis* Ser. var. *concolor* Franch. & Sav. は、*Potentilla chinensis* Ser. (カワラサイコ) の異名とされている。

(533). *Potentilla chinensis* Ser. δ . *lineariloba* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 339 (1878)

“Circa Yokoska”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。*Potentilla chinensis* Ser. var. *lineariloba* Franch. & Sav. は *Potentilla chinensis* Ser. (カワラサイコ) の異名とされている。

(533). *Potentilla chinensis* Ser. ϵ . *ramosa* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 339 (1878)

“Circa Yokoska, ubi semel lecta.”

Yokoska, Savatier, No. s.n., P03338401; *ibid.*, P03338352; *ibid.*, P03338356.

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変種名 “ ϵ . *ramosa*” が記されている横須賀で採集された標本 3 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P03338401) には 1926 年の小泉源一による “*Potentilla chinensis* Ser. var. *divaricata* Koidz.” の同定票が貼付され、もう 1 シート (P03338352) には、記入者は不明だが、ラベルに “*Potentilla chinensis* Ser. var. *divaricata* Koidz.” と記されている。*Potentilla chinensis* Ser. var. *ramosa* Franch. & Sav. は *Potentilla chinensis* Ser. (カワラサイコ) の異名とされている。

(533). *Potentilla chinensis* Ser. ζ . *isomera* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 339-340 (1878)

“Circa Yokoska rarissima videtur.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。*Potentilla chinensis* Ser. var. *isomera* Franch. & Sav. は *Potentilla chinensis* Ser. (カワラサイコ) の異名とされている。

548. *Rosa multiflora* Thunb. *α. genuina* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 134 (1873), 2(2): 343 (1878)

“Varietates sequentes legit Dr. Savatier, omnes circa Yokoska vigentes”, “(Savatier, n.386).”, “Circa Yokoska, in sepibus frequens.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 386) は見出せなかった。*Rosa multiflora* Thunb. var. *genuina* Franch. & Sav. は、*Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) の異名とされている。

548. *Rosa multiflora* Thunb. *β. platyphylla* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 134 (1873), 2(2): 343-344 (1878)

“Varietates sequentes legit Dr. Savatier, omnes circa Yokoska vigentes”, “(Savatier, n.387).”

Yokoska, Savatier, No. 387, P01819313 (MNHN-DB); *ibid.*, P01819314 (MNHN-DB); *ibid.*, P01819315 (MNHN-DB)

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 387) 2 シートを確認した。P01819313 と P01819314 は 1 シートの標本であり、1995 年の大場秀章・関口淑子による “Holotype” の、もう 1 シートの標本には、“Isotype” の同定票が貼付されている。これらの標本は *Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) であった。本変種は小崎 (2001) では取り上げられていない。*Rosa multiflora* Thunb. var. *platyphylla* Franch. & Sav. は、*Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) の異名とされている。

548. *Rosa multiflora* Thunb. *γ. microphylla* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 134 (1873), 2(2): 344 (1878)

“Varietates sequentes legit Dr. Savatier, omnes circa Yokoska vigentes”, “(Savatier, n.288).”, “stipulis minus incisus (Savatier, n.389).”, “Hab. Circa Yokoska, in sepibus.”

Yokoska, Savatier, No. 288a, P01819299 (MNHN-DB); *ibid.*, P01819300 (MNHN-DB); *ibid.*, P01819301 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 288, 389) は見出せなかったが、サヴァチェの標本番号が No. 288a の標本 2 シートを確認した。P01819300 と P01819301 は 1 シートの標本であり、これらに標本には 1995 年の大場秀章・関口淑子による Authentic specimen と記された同定票が貼付されている。これらの標本は *Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) であった。*Rosa multiflora* Thunb. var. *microphylla* Franch. & Sav. は、*Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) の異名とされている。

548. *Rosa multiflora* Thunb. *δ. microphylla* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 134 (1873), 2(2): 344 (1878)

“Varietates sequentes legit Dr. Savatier, omnes circa Yokoska vigentes”, “stipulis minus incisus (Savatier, n.389).”, “Hab. Circa Yokoska, in sepibus.”

Yokoska, Savatier, No. 398, P01819298 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 389) は見出せなかったが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。この標本には 1995 年の大場秀章・関口淑子による “Holotype” の同定票が貼付されているが、オリジナルのラベルには、和名 “Teriba-noibara” とある。これらの標本は *Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) であった。*Rosa multiflora* Thunb. var. *microphylla* Franch. & Sav. は、*Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) の異名とされている。

548. *Rosa multiflora* Thunb. *ε. adenophora* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 344 (1878)

“(Savatier, n.390).”, “Yokoska (Savatier); Senano (Rein); Satzouma (id.); Niigata, provinciae Etchigo (Dr Vidal). Yesso, circa Hakodate.”

Yokoska, Mai 1867, Savatier, s.n., P01819307 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 390) は見出せなかったが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。この標本には 1995 年の大場秀章・関口淑子による “Lectotype” の同定票が貼付されている。この標本は *Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) であった。また、この他、MNHN-DB では、5 シートの標本 (P01819308; P01819309; P01819310; P01819311; P01819312) が Syntype とされている。*Rosa multiflora* Thunb. var. *adenophora* Franch. & Sav. は、*Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) の異名とされている。

548. *Rosa multiflora* Thunb. *η. calva* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 344 (1878)

“(Savatier, n.391).”, “Circa Yokoska rarissima.”

Yokoska, Savatier, s.n., P01819295 (MNHN-DB); *ibid.*, P01819296 (MNHN-DB); *ibid.*, P01819297 (MNHN-DB)

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier,

n. 391) は見出せなかったが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 2 シートを確認した。P01819295 と P01819296 は 1 シートの標本であり、この標本には 1995 年の大場秀章・関口淑子による“Lectotype”の同定票が、もう 1 シート (P01819297) には、“Isolectotype”の同定票が貼付されている。これらの標本は *Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) であった。*Rosa multiflora* Thunb. var. *calva* Franch. & Sav. は、*Rosa multiflora* Thunb. (ノイバラ) の異名とされている。

549. *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. α. genumo Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 344 (1878)
“(Savatier, n.373).”, “Circa Yokoska et Kamakoura frequens.”

Yokoska, Savatier, No. 373, P01819305 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 373) 1 シートを確認した。この標本は、Ohba (2000) の Fig. 2 に示されているものであり、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) であった。また、今回は標本を見出せなかったが、MNHN-DB では別の 2 シートの標本 (Yokosaka, Savatier, No. 373, P01819304; *ibid.*, P01819306) が Lectotype とされている。これらの標本には 1995 年の大場秀章・関口淑子による“*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép.”の“Lectotype”あるいは“Isolectotype”の同定票が貼付されており、このうち 1 シートの標本 (P01819304) は Ohba (2000) の Fig. 1 に示されているものである。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. var. *genumo* Franch. & Sav. は、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) の異名とされている。

549. *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. β. fimbriata Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 344-346 (1878),
“(Savatier, n.374).”, “Circa Yokoska rara et in montibus Hakone.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 374) は見出せなかったが、MNHN-DB では 1 シートの標本 (Savatier, No. 374, P01819320) が Holotype とされている。この標本は Ohba (2000) の Fig. 3 に示されているものである。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. var. *fimbriata* Franch. & Sav. は、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) の異名とされている。

549. *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. γ. poteriifolia Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 344-345, 346 (1878)

“(Savatier, n.375).”, “Circa Yokoska sat frequens et in monte Fudsi Yama, ad pedem.”

Yokoska, Savatier, No. 375-376, P01819324 (MNHN-DB), Yokoska, Savatier, s.n., P01819325 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 375) 1 シートを確認したが、採集者番号は 375-376 であった。また、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートも確認した。これらの標本は *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) であった。また、今回は標本を見出せなかったが、MNHN-DB には別の 3 シートの標本 (Yokoska, Savatier, No. 376, P01819321; *ibid.*, P01819322; Savatier, No. 375-376, P01819323) が登録されており、これらの標本のうち、2 シートの標本 (P01819321; P01819323) は、Ohba (2000) の Fig. 4 に、1 シートの標本 (P01819322) は Fig. 5 に示されたものである。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. var. *poteriifolia* Franch. & Sav. は、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) の異名とされている。

(549). *Rosa luciae* Franch. & Rochebr., δ. adenophora Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 345 (1878)

“(Savatier, n.376).”, “Circa Yokoska rarissima. In provinciâ Ise formam valde microphyllam legit Dr Rein.”

Yokoska, Mai 1867, Savatier, s.n., P01819316 (MNHN-DB); Yokoska, Jul. 1867, P01819318 (MNHN-DB); Yokoska, Jun. 1867, P01819317 (MNHN-DB); Rein & Savatier, No. 3660, P01819319 (MNHN-DB).

日本植物目録の 1 巻 135 頁には δ. *Adenophora* は掲載されていないが、γ. *poteriifolia* と δ. *poteriifolia* が重複しているので、以下、δ. *poteriifolia* の記述を δ. *Adenophora* とした。日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 376) は見出せなかったが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 4 シートを確認した。これらの標本のうち、1 シート (P01819316) は、Ohba (2000) の Fig. 6 に示されたものであり、1995 年の大場秀章・関口淑子による“Lectotype”の同定票が貼付されており、他の 3 シート (P01819318, P01819317, P01819319) には、1995 年の大場秀章・関口淑子による“Syntype”の同定票が貼付

されている。これらの標本は *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) であった。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr., var. *adenophora* Franch. & Sav. は、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. の異名とされている。

549. *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ε. *crataegicarpa* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 345-346 (1878)
“(Savatier, n.377).”, “Circa Yokoska semel inventa.”

Yokoska, Jun. 1867, Savatier, No.377, P01819327 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 377) 1 シートを確認した。この標本は Ohba (2000) の Fig. 5 に示されたものであり、1995 年の大場秀章・関口淑子による “Holotype” の同定票が貼付されている。この標本は *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) であった。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. var. *crataegicarpa* Franch. & Sav. は、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. の異名とされている。

549. *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. η. *oligantha* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 345 (1878)
“(Savatier, n.378).”

Yokoska, Savatier, No.378, P01819331 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 378) 1 シートを確認した。この標本は、Ohba (2000) の Fig. 7 に示されたものであり、1995 年の大場秀章・関口淑子による “Holotype” の同定票が貼付されている。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. var. *oligantha* Franch. & Sav. は、*Rosa onoei* Makino var. *oligantha* (Franch. & Sav.) H.Ohba (アズマイバラ) の基礎異名である。

549. *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. Θ. *yokoscensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 345 (1878)
“(Savatier, n.379).”, “Circa Yokoska valde frequens.”

Yokoska, Mai 1867, Savatier, s.n., P01819326 (MNHN-DB)

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 379) は見出せなかったが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。この標本は Ohba (2000) の Fig. 8 に示されたものであり、1995 年の大場秀章・関口淑子による

“Lectotype” の同定票、2010 年の大場秀章による “Neotype” の同定票が貼付されている。これらの標本は *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. (テリハノイバラ) であった。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. var. *yokoscensis* Franch. & Sav. は、*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. ex Crép. の異名とされている。

549. *Rosa luciae* Franch. & Rochebr. u. *hakonensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 135 (1873), 2(2): 345-346 (1878)

“Hab. in montibus Hakone (Savatier, n.380).”, “Hab. in montibus Hakone et Fudsi Yama.”

Hakone, Mai 1870, Savatier, No. 996, P01819328 (MNHN-DB); Fudsi Yama, Jun. 1875, Savatier, No. 3418, P 01819329 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 380) は見出せなかったが、関連すると思われる箱根で採集された標本 1 シート、富士山で採集された標本 1 シートを確認した。これらの標本のうち、箱根で採集された標本 (P01819328) は、Ohba (2000) の Fig. 9 に示されたものであり、1995 年の大場秀章・関口淑子による “Lectotype” の同定票、2010 年の大場秀章による “Neotype” の同定票が貼付されている。*Rosa luciae* Franch. & Rochebr. var. *hakonensis* Franch. & Sav. は *Rosa jasminoides* Koidz. (モリイバラ) の異名とされている。

564. *Pyrus toringo* Siebold ex Miq. γ. *integrifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 139 (1873), 2(2): 350 (1878)

“Hab. in fruticetis, juxta Yokoska insulae Nippon (Savatier, n.401).”

Yokoska, Savatier, No. 401, P03132502.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 401) 1 シートを確認した。この標本は *Malus toringo* Siebold ex de Vriese (ズミ) であった。*Pyrus toringo* Siebold ex Miq. var. *integrifolia* Franch. & Sav. は、*Malus toringo* Siebold ex de Vriese の異名とされている。

(590). *Chrysosplenium alternifolium* L. β. *papillosum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 355, 362, 364 (1878).

“Hab. in rupibus madidis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.462); in jugo Hakone et in tractu Nikô (id.); circa Niigata provinciae Etchigo (Vidal).”

Yokoska, Savatier, No. 462, P00709299; *ibid.*, P00709300; *ibid.*, P00709301; *ibid.*, P03050347; *ibid.*, P 未登録 (Fig. 8); *ibid.*, P 未登録 (Fig. 9).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 462) 6 シートを確認した。このうち 2 シートの標本には P の標本番号が貼付されておらず、未登録であり (Fig. 8, Fig. 9)、3 シートの標本 (P00709299; P00709300; P00709301) には “Syntype” のラベルが貼付されていた。*Chrysosplenium alternifolium* L. var. *papillosum* Franch. & Sav. は *Chrysosplenium japonicum* (Maxim.) Makino (ヤマネコノメ) の異名とされている。

592. *Chrysosplenium maximowiczii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 148 (1873), 2(2): 358 (1878)

“Hab. in umbrosissimis silvarum, ad rivulos: Nippon media, circa Yokoska rarius (Savatier, n. 461bis).

Yokoska, Savatier, No. 461bis, P00709329.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 461bis) 1 シートを確認した。また、この他、採集者の標本番号のない横須賀で採集された標本 1 シート (Yokoska, Savatier, s.n., P03198025) も見出した。*Chrysosplenium maximowiczii* Franch. & Sav. ex Maxim. in Bull. Imp. Sci. St. Petersb. 23(2): 349 (1877) (ムカゴネコノメソウ) として、現在も正名である。

593. *Chrysosplenium macrostemon* Maxim. in Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 148 (1873), 2(2): 358-359, (362), 363 (1878)

“Hab. in silvis umbrosis, ad rivulos: in totâ Japoniâ sat late dispersum (Maxim. in litt.); Yokoska (Savatier n.461). Fl. mart.”

Yokoska, Savatier, No. 461, P00709328; *ibid.*, P00709327; *ibid.*, P00709326; *ibid.*, P00709333.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 461) 4 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00709333) のオリジナルと思われるラベルには、*Chrysosplenium ovalifolium* M. Bieb. varietas (… nov.?) とあるが、別のラベルに 1954 年の原寛による *Chrysosplenium macrostemon* Maxim. の同定結果が記されている。*Chrysosplenium macrostemon* Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St. Petersb., 23(2): 348 (1877) (イワボタン) は現在も正名である。

602. *Hydrangea hortensis* Sm. β . *pubescens* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 151 (1873)
“Hab. in umbrosis humidis montium Hakone (Savatier, n.473).”

Hakone, Savatier, s.n., P00735785.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 473) は見出せなかったが、関連すると思われる箱根で採集された標本 1 シートを確認した。*Hydrangea hortensis* Sm. var. *pubescens* Franch. & Sav. は *Hydrangea serrata* (Thunb.) Ser. var. *serrata* form. *pubescens* (Franch. & Sav.) Wilson (イワガク) の基礎異名である。

(625). *Sedum subtile* Miq. α . *obovata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 366 (1878)

“Hab. Hakone, Niko, Yedo.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。*Sedum subtile* Miq. var. *obovata* Franch. & Sav. は、*Sedum makinoi* Maxim. (マルバマンネングサ) の異名とされている。

(625). *Sedum subtile* Miq. β . *caespitosa* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 367 (1878)

“Hab. in montibus Hakone.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。*Sedum subtile* Miq. var. *caespitosa* Franch. & Sav. は *Sedum subtile* Miq. (ヒメレンゲ) の異名とされている。

649. *Epilobium pyrricholophum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 168 (1873), 2(2): 370 (1878)

“Hab. in humidis umbrosis regionis montanae: Nippon media, prope Yokoska et in jugo Hakone (Savatier, n.410). Fl. aug.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 410) 標本は見出せなかった。*Epilobium pyrricholophum* Franch. & Sav. (アカバナ) は現在も正名である。

658. *Circaea erubescens* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 170 (1873), 2(2): 370-371 (1878)

“Hab. in umbrosis silvarum regionis montanae: Nippon media, in montibus Hakone (Savatier, n.413). Fl. aug.”, “Hab. in umbrosis tractus Nikô (Niewerth); in monte Ontake, provinciae Simotske (Tachiro).”

Hakone, Savatier, No. 413, P05182891; *ibid.*, P05182894.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 413) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P05182891) には 1977 年の D.E.Boufford による “Lectype” のラベルが貼付されている。また、この他、採集者の標本番

号が記されていない箱根で採集された標本 (31 Août 1871, Savatier, s.n., P05182895) 1 シートも見出した。*Circaea erubescens* Franch. & Sav. (タニタデ) は現在も正名である。

669. *Actinostemma lobatum* (Maxim.) Maxim. ex Franch. & Sav. var. *japonica* Maxim. ex Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 175 (1873) “Hab. in insula Nippon, circa Yokohama frequens (Maxim.).”

Yokohama, Savatier, s.n., P06744452; *ibid.*, P06744453.

日本植物目録には採集者の標本番号は明記された標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変種名 “var. *japonica*” が記されている横浜で採集された標本 2 シートを確認した。これらの標本には 1998 年の Lu Aumin による “*Actinostemma tenerum*. GRiff.” の同定票が貼付されている。*Actinostemma lobatum* (Maxim.) Maxim. ex Franch. & Sav. var. *japonica* Maxim. ex Franch. & Sav. は、*Actinostemma tenerum* Griff. (ゴキヅル) の異名とされている。なお、田中 (2016) は、Maximowicz が横浜で採集した本種の標本 (GH00251087) を報告しているが、この標本は *Actinostemma lobatum* (Maxim.) Maxim. ex Franch. & Sav. の基礎異名である *Microsicyos lobatus* Maxim. の副基準標本である可能性がある。

709. *Angelica florenti* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 188 (1873) “Hab. in rupestribus umbrosis: Nippon media, in provinciâ Nambu, Fudsi yama, Hakone (Maxim.; Savatier, n.495).”

Hakone, Savatier, No. 495, P04347253.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 495) 1 シートを確認した。この標本には “Syntype” のラベルが貼付されている。また、この他、採集者の標本番号は記されていないが、箱根で採集された標本 (Savatier, s.n., P00752993; *ibid.*, P00752994) 2 シートを見出した。これらの標本には、2010 年の W.C.Pinera ? の “Isotype” の同定票が貼付されている。*Angelica florentii* Franch. & Sav. ex Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St. Petersb., 19(3): 274 (1874) は、*Ostericum florentii* (Franch. & Sav. ex Maxim.) Kitag. (ミヤマニンジン) の基礎異名である。

718. *Aralia spinosa* L. α. *glabrescens* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(1): 191-192 (1873) “Hab. in collibus inter frutices: Kioussiou in

promontorio Nomo Saki (Buerger). Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n.524); Yokohama (Maxim.). Fl. Sept. Oct.”

Yokoska, Sept. 1867, Savatier, No. 524, *ibid.*, P03258430; *ibid.*, P03258432; Yokoska, Savatier, No.524, P03258428; *ibid.*, P03258429; *ibid.*, P03258431.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 524) 5 シートを確認した。*Aralia spinosa* L. var. *glabrescens* Franch. et Sav. は、*Aralia elata* (Miq.) Seem. (タラノキ) の異名とされている。

718. *Aralia spinosa* β. *canescens* Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap., 1(1): 192 (1874)

“Hab. cum precedente [=in collibus inter frutices] Nippon media, ad Yokoska (Savatier, n.525)”

Yokoska, Jul. 1867, Savatier, No. 525, P03258098; *ibid.*, P03258100.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 525) 2 シートを確認した。*Aralia spinosa* L. var. *canescens* Franch. et Sav. は、*Aralia elata* (Miq.) Seem. form. *canescens* (Franch. & Sav.) T.Yamaz. (メダラ) の基礎異名である。

(747). *Viburnum erosum* Thunb. α. *punctatum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 380 (1878) “Hab. circa Yokoska, Tomioka.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、変種名 “α. *punctatum*” が記されている標本も見出せなかった。*Viburnum erosum* Thunb. var. *punctatum* Franch. & Sav. (コバノガマズミ) は現在も正名である。

(747). *Viburnum erosum* Thunb. β. *furcipila* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 380 (1878) “Hab. circa Yokoska.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、変種名 “β. *furcipila*” が記されている標本も見出せなかった。*Viburnum erosum* Thunb. var. *furcipila* Franch. & Sav. は、*Viburnum erosum* Thunb. var. *punctatum* Franch. & Sav. (コバノガマズミ) の異名とされている。

(747). *Viburnum erosum* Thunb. γ. *laeve* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 380 (1878) “Hab. circa Yokoska.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、変種名 “γ. *laeve*” が記されている標本も見出せなかった。*Viburnum erosum* Thunb. var. *laeve* Franch. & Sav. は、*Viburnum erosum* Thunb. var. *erosum* (テ

リハコバナガマズミ) の異名とされている。

799. *Galium pogonanthum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 213-214 (1875), 2(2): 393 (1878)

“Hab. in herbidis humidis: Nippon media, circa Yokoska frequens (Savatier, n.569); prope Simoda, ad latera collium (Wright), si cl. Asa Gray synonym. hic recte referatur.”

Yokoska, Savatier, No. 569, P03968563 (Fig. 10).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 569) 1 シートを確認した。この標本は、小花柄が短く、葉の中央でもっとも幅が広く、*Galium gracilens* (A.Gray) Makino (ヒメヨツバムグラ) のようであるが、さらに検討が必要であり、今後の課題としたい。*Galium pogonanthum* Franch. & Sav. (ヤマムグラ) は現在も正名である。

828. *Aster trinervius* Roxb. β . *ovatus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 222 (1875)

“Hab. Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.593). Yéso circa Hakodate (Maximowicz).”

Yokoska, Savatier, s.n., P00711731

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 593) は見出せなかったが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。この標本には “Syntype” のラベルが貼付されているが、“probable” のメモがある。*Aster trinervius* D.Don var. *ovatus* Franch. & Sav. は、*Aster microcephalus* (Miq.) Franch. & Sav. var. *ovatus* (Franch. & Sav.) Soejima & Mot.Ito (ノコンギク) の基礎異名である。

828. *Aster trinervius* Roxb. δ . *congestus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 223 (1875)

“Hab. in insulâ Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.595).”

Yokoska, Savatier, No. 595, P00711732.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 595) 1 シートを確認した。この標本には “Type” のラベルが貼付されている。*Aster trinervius* var. *congestus* Franch. & Sav. は、*Aster microcephalus* (Miq.) Franch. & Sav. var. *ovatus* (Franch. & Sav.) Soejima & Mot.Ito (ノコンギク) の異名とされている。

828. *Aster trinervius* Roxb. ϵ . *angustifolius* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 223 (1875)

“Hab. in insulâ Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.596).”

Yokoska, Savatier, No. 596, P00711733.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 596) 1 シートを確認した。この標本には “Type” のラベルが貼付されている。*Aster trinervius* ϵ . *angustifolius* Franch. & Sav. は、*Aster microcephalus* (Miq.) Franch. & Sav. var. *ovatus* (Franch. & Sav.) Soejima & Mot.Ito (ノコンギク) の異名とされている。

836. *Aster dimorphophyllus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 224-225 (1875), 2(2): 395-396 (1878)

“Hab. in rupestribus regionis montanae: in jugo Hakone (Savatier, n.602). Fl. Aug. Sept.”

Yokoska, Savatier, No. 602, P0071659; *ibid.*, P0071660.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 602) 2 シートを確認した。これらの標本には “Syntype” のラベルが貼付されている。また、この他、“Syntype” のラベルが貼付されている横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P0071657; *ibid.*, P0071658) 2 シートも見出した。*Aster dimorphophyllus* Franch. & Sav. (タテヤマギク) は現在も正名である。

(837). *Aster hispidus* Thunb. α . *isochaeta* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 396, 399 (1878).

“Hab. in Japoniâ, v.c. ad Tamagawa insulae Nippon (Savatier, n.2881).”

Yokoska, Savatier, s.n., P02553800

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2881) は見出せなかったが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。*Aster hispidus* Thunb. var. *isochaeta* Franch. & Sav. は *Aster kantoensis* Kitam. (カワラノギク) の異名とされている。

839. *Boltonia indica* (L.) Benth. α . *heterochaeta* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 226 (1875)

“In siccis circa Yokoska rarissime legit Dr Savatier (n.604)”

Aster iinumae H.Hara (ユウガギク) あるいは *Aster yomena* (Kitam.) Honda var. *dentatus* (Kitam.) H.Hara (カントウヨメナ) だと思われるが、日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 604) は見出せなかった。

909. *Senecio krameri* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 248-249 (1875), 2(2): 406 (1878)

“Hab. in fruticetis regionis montanae, etiam in planitie descendens: Nippon media, circa Yokoska sat frequens (Savatier, n.663) et in montibus Niko (id., n.2096). Fl. Jul. Sept.”

Yokoska, Savatier, No. 663, P03751062.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 663) 1 シートを確認した。また、今回は標本を見出せなかったが、MNHN-DB では横須賀で採集された標本 (Yokoska, Savatier, No. 663, P03751063) 1 シートが Type とされている。*Senecio krameri* Franch. & Sav. は、*Syneilesis palmata* (Thunb.) Maxim. (ヤブレガサ) の異名とされている。

914. *Senecio syneilesis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 249-250 (1875)

“Hab. in regione montanâ: Nippon media. in jugo Hakone (Tschonoski).”

日本植物目録にはサヴァチェの採集した標本は示されておらず、MNHN-DB では、須川長之助が採集した標本 1 シート (P00705048) が Holotype、1 シート (P00705049) が Isotype とされている。*Senecio syneilesis* Franch. & Sav. は、*Syneilesis palmata* (Thunb.) Maxim. (ヤブレガサ) の異名とされている。

(951). *Cnicus japonicus* (DC.) Maxim. ζ. *obvallata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 412 (1878)

“Hab. in tractu Hakone (Savatier, n.3442).”

Hakone, Jul. 1875, Dickins & Savatier, No. 3442, P00705781; *ibid.*, P00705782.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3442) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00705781) には 2002 年の門田裕一による “Type” の同定票が貼付されている。*Cnicus japonicus* (DC.) Maxim. var. *obvallata* Franch. & Sav. は、*Cirsium japonicum* DC. (ノアザミ) の異名とされている。

979. *Ixeris debilis* A.Gray β. *sinuata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 270 (1875)

“Hab. in arenosis maritimis: Nippon media, prope Kamakoura (Savatier, n.710). Fl. Oct.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 710) は見出せなかった。*Ixeris debilis* A.Gray var. *sinuata* Franch. & Sav. は、*Ixeris debilis* (Thunb.) A.Gray form. *sinuata* (Franch. & Sav.) Nakai (キクバオオジシバリ) の基礎異名である。

985. *Crepis integer* (Thunb.) Miq. β. *platyphyllus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 272 (1975)

“Hab. in insulâ Parry (Savatier, n.705).”

Parry, Savatier, No. 705, P03782624.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 705) 1 シートを確認した。*Crepis integer* (Thunb.) Miq. var. *platyphyllus* Franch. & Sav. は、*Crepidiastrum platyphyllum* (Franch. & Sav.) Kitam. (ワダン) の基礎異名である。

1005. *Adenophora verticillata* Fisch. α. *sparsifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 278 (1875)

“Hab. in umbrosis circa Yokoska rarissima, cum typo mixta (Savatier, n.757). Fl. Aug.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 757) は見出せなかった。*Adenophora verticillata* Fisch. var. *sparsifolia* Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara (ツリガネニンジン) の異名とされている。

1005. *Adenophora verticillata* Fisch. β. *crenata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 278 (1875)

“Hab. circa Yokoska (Savatier, n.735).”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 757) は見出せなかった。なお、後述のように日本植物目録の 2 巻 422 頁には、γ. *alternifolia* Franch. & Sav. 2. *crenata* Franch. & Sav. が掲載されており、本変種は小崎 (2001) では取り上げられていない。*Adenophora verticillata* Fisch. var. *crenata* Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara (ツリガネニンジン) の異名とされている。

(1005). *Adenophora verticillata* Fisch. α. *verticillata* Franch. & Sav. 1. *serrulata* Maxim. ex Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 422 (1878)

“Yokoska, Yokohama, Hakone, etc., etc.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、変・品種名 “α. *verticillata* 1. *serrulata*” が記されている標本は見出せなかった。*Adenophora verticillata* Fisch. var. *verticillata* Franch. & Sav. form. *serrulata* Maxim. ex Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara (ツリガネニンジン) の異名とされている。

(1005). *Adenophora verticillata* Fisch. γ . *alternifolia* Franch. & Sav. 1. *dentata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 422 (1878)
“Yokoska.”

Yokoska, Savatier, s.n., P00236959.

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変・品種名 “ γ . *alternifolia* 1. *dentata*” が記されている横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。この標本は台紙に “Type” と記されている。*Adenophora verticillata* Fisch. var. *alternifolia* Franch. & Sav. form. *dentata* Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara (ツリガネニンジン) の異名とされている。

(1005). *Adenophora verticillata* Fisch. γ . *alternifolia* Franch. & Sav. 2. *crenata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 422 (1878)
“Yokoska, unicum specimen.”

Yokoska, Savatier, s.n., P00236960

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変・品種名 “ γ . *alternifolia* 2. *crenata*” が記されている横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。この標本は台紙に “Type” と記されている。*Adenophora verticillata* Fisch. var. *alternifolia* Franch. & Sav. 2. *crenata* Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara (ツリガネニンジン) の異名とされている。

(1005). *Adenophora verticillata* Fisch. δ . *brevidens* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 422 (1878)
“Yokoska; Hakodate; specimina pauca vidimus.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、変種名 “ δ . *brevidens*” が記されている横須賀で採集された標本は見出せなかった。*Adenophora verticillata* Fisch. var. *brevidens* Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara (ツリガネニンジン) の異名とされている。

(1005). *Adenophora verticillata* Fisch. ϵ . *canescens* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 422 (1878)
“Yokoska, Tomioka, Hakodate.”

Tomioka, 1875, Vidal & Savatier, s.n., P00236971

日本植物目録には標本は引用されておらず、変種名 “ ϵ . *canescens*” が記されている横須賀・富岡で採集された標本は見出せなかった。ただ

し、関連すると思われる富岡で採集された標本 1 シートを確認した。この標本は、台紙に “Type” と記されている。*Adenophora verticillata* Fisch. var. *canescens* Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara form. *canescens* (Franch. et Sav.) Kitam. (シラゲシャジン) の基礎異名である。

(1006). *Adenophora polymorpha* Ledeb. β . *alternifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 422 (1878)
“Yokoska”

日本植物目録には標本は引用されておらず、変種名 “ α . *verticillata*” が記されている標本は見出せなかった。*Adenophora polymorpha* Ledeb. var. *alternifolia* Franch. & Sav. は、*Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel) H.Hara (ツリガネニンジン) の異名とされている。

(1101). *Lysimachia barystachys* Bunge β . *japonica* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 430-431, 432 (1878)
“Hab. circa Yokoska, haud frequens.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。小崎 (2001) は *Lysimachia clethroides* Duby (オカトラノオ) としている。

(1165). *Vincetoxicum sub lanceolatum* (Miq.) Maxim. δ . *auriculatum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 443, 448 (1878)
“E. montibus Hakone habuit Dr. Savatier.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。*Vincetoxicum sub lanceolatum* (Miq.) Maxim. var. *auriculatum* Franch. & Sav. (ジョウシュウカモメヅル) は現在も正名である。

(1165). *Vincetoxicum sub lanceolatum* (Miq.) Maxim. η . *dickinsii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 443, 448 (1878)
“In montibus Hakone legit Dickins.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。*Vincetoxicum sub lanceolatum* (Miq.) Maxim. var. *dickinsii* Franch. & Sav. は、*Vincetoxicum sub lanceolatum* (Miq.) Maxim. var. *auriculatum* Franch. & Sav. (ジョウシュウカモメヅル) の異名である。

1170. *Tylophora japonica* Miq. α . *atropurpurea* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 320 (1875); (1165c). *Vincetoxicum sublaceolatum* α . *typica* Maxim. [Enum. Pl. Jap., 2(2): 442-443 (1878)]
 “Hab. in fruticetis regionis montanae: Nippon media, in jugo Hakone (Savatier, n.831). Fl. Sept.”, “Hab. in fruticetis: Nippon, circa Yokohama (Maxim.); in montibus Hakone (Savatier).”

Hakone, 30 Aug 1871, Savatier, s.n., P03872539; *ibid.*, P03872545.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 831) は見出せなかったが、関連すると思われる変種名 “ *α . typicum*” と明記された標本 2 シートを見出した。*Tylophora japonica* Miq. var. *atropurpurea* Franch. & Sav. は、*Vincetoxicum sublaceolatum* (Miq.) Maxim. (コバノカモメヅル) の異名とされている。

1170. *Tylophora japonica* Miq. β . *albiflora* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 320 (1875); (1165c). *Vincetoxicum sublaceolatum* (Miq.) Maxim. γ . *albida* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 443, 448 (1878)
 “Hab. cum praecedente in montibus Hakone (Savatier, n.831bis).”

Hakone, Savatier, s.n., P00644819.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 831bis) は見出せなかったが、関連すると思われる箱根で採集された標本 1 シートを確認した。この標本には 1993 年の W.D.Stevens による “Holotype” の同定票が貼付されている。*Tylophora japonica* Miq. var. *albiflora* Franch. & Sav. は、*Cynanchum sublaceolatum* (Miq.) Matsum. form. *albiflorum* (Franch. & Sav.) T.Yamaz. (アズマカモメヅル) の基礎異名である。

1245. *Mazus rugosus* Lour. β . *macranthus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 344 (1875)
 “Hab. cum praecedente, circa Yokoska (Savatier, n.888bis).”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 888bis) は見出せなかった。*Mazus rugosus* Lour. var. *macranthus* Franch. & Sav. は、*Mazus miquelii* Makino (サギゴケ) の異名とされる。

1256. *Vandellia pachypoda* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 346 (1875), 2(2): 457 (1878)

“Hab. in orizetis: Nippon media, circa Yokoska

(Savatier, n.895).”

Yokoska, Savatier, No. 895, P03399415; *ibid.*, P03399416 (Fig. 11).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 895) 2 シートを確認した。また、採集者の標本番号が付されていない横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P03399414) 1 シートも確認した。これらの標本は、*Lindernia antipoda* (L.) Alston var. *grandiflora* (Hook.f.) Tuyama (エダウチスズメノトウガラシ) であった。

1289. *Lathraea miqueliana* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 461 (1878); *Clandestina japonica* (non. Miq.) Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 354 (1875)

“Hab. in insulâ Kiousiou, ad promontorium Nomosaki et in jugo Hakone insulae Nippon (Tshonoski).”

日本植物目録には標本は引用されておらず、関連すると思われる標本も見出せなかった。*Lathraea miqueliana* Franch. & Sav. は、*Lathraea japonica* Miq. var. *miqueliana* (Franch. & Sav.) Ohwi (ケヤマウツボ) の基礎異名である。

1341. *Salvia japonica* Thunb. α . *integrifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 371 (1875), 2(2): 463 (1878)

“Hab. in ruderatis, ad vias: Nippon media, circa Yokoska Savatier, n.2542). Fl. Oct.”

Yokoska, Savatier, No. 2542, P02887994.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2542) 1 シートを確認した。この標本には台紙に “Type” と記されている。この標本は、*Salvia japonica* Thunb. (アキノタムラソウ) であった。*Salvia japonica* Thunb. var. *integrifolia* Franch. & Sav. は、*Salvia japonica* Thunb. の異名とされている。

1341. *Salvia japonica* Thunb. β . *ternata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 372 (1875), 2(2): 463 (1878)

“Hab. in scrobibus, secus vias: Nippon, (Siebold); circa Yokoska haud rara (Savatier, n.967). Fl. Sept. Oct.”

Yokoska, Savatier, No. 967, P02887978; *ibid.*, P02887985; *ibid.*, P02887997 (Fig. 12).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 967) 3 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P02887997, Fig. 12) には 1926 年の小泉源一による “*Salvia chinensis* Benth. (マルバアキ

ノタムラソウ)”の同定票が付されている。*Salvia chinensis* Benth は、*Salvia japonica* Thunb. form. *chinensis* (Benth.) Kudô (マルバアキノタムラソウ)の基礎異名であり、*Salvia japonica* Thunb. var. *ternata* Franch. & Sav. は、*Salvia japonica* Thunb. (アキノタムラソウ)の異名とされている。

1341. *Salvia japonica* Thunb. γ. *bipinnata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 372 (1875)
“Hab. in incultis, secus vias: Kiouxiou, circa Nangasaki (Thunb.); in promontorio Nomo saki (Buerger). Nippon media, ad Yokohama (Maxim.); Yokoska (Savatier, n.966). Fl. Oct.”

Yokoska, Savatier, No. 966, P02887991; ibid., P02887992; ibid., P02887996.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 966) 3 シートを確認した。これらの標本は *Salvia japonica* Thunb. であった。*Salvia japonica* Thunb. var. *bipinnata* Franch. & Sav. は、*Salvia japonica* Thunb. (アキノタムラソウ)の異名とされている。

1356. *Scutellaria nipponica* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 377 (1875), 2(2): 464 (1878)
“Hab. in uliginosis arenaceis: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n.973). Fl. Aug.”

Yokoska, Savatier, No. 973, P04158242.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 973) 1 シートを確認したが、この標本ラベルには、“*Scutellaria dependens* Franch. & Sav.”と記されている。*Scutellaria nipponica* Franch. & Sav. は、*Scutellaria dependens* Maxim. (ヒメナミキ)の異名とされている。

1369. *Ajuga decumbens* Thunb. β. *sinuata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 382 (1875), 2(2): 466 (1878)

“Nippon media, circa Yokoska Savatier, (n. 986bis). Fl. Mart. Maj.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 986bis) は見出せなかった。*Ajuga decumbens* Thunb. var. *sinuata* Franch. & Sav. は、*Ajuga decumbens* Thunb. (キランソウ)の異名とされている。

(1369). *Ajuga decumbens* Thunb. γ. *glabrescens* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 466 (1878)
“Hab. circa Yokoska haud infrequens.”

日本植物目録には標本は引用されておらず、変種名 “γ. *glabrescens*” が記されている標本を見出すことはできなかった。*Ajuga decumbens*

Thunb. var. *glabrescens* Franch. & Sav. は、*Ajuga decumbens* Thunb. (キランソウ)の異名とされている。

1374. *Plantago japonica* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 384 (1875), 2(2): 469 (1878)

“Hab. in scrobibus, secus vias ut videtur frequens: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n.991). Fl. Jul. Sept.”

Yokoska, Savatier, No. 991, P03531118.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 991) 1 シートを確認した。また、その他、横須賀で採集された標本 (Savatier, s.n., P03531114; ibid., P03531117) 2 シートを確認した。*Plantago japonica* Franch. & Sav. は、*Plantago major* L. var. *japonica* (Franch. & Sav.) Miyabe (トウオオバコ)の基礎異名である。

1380. *Chenopodium acuminatum* Willd. α. *japonicum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 386 (1875), 2(2): 469 (1878)

“Hab. in ruderalis: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.1009). Fl. Aug.”

Yokoska, Savatier, No. 1009, P04970342.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1009) 1 シートを確認した。この標本には台紙に “Type” と記されている。*Chenopodium acuminatum* Willd. var. *japonicum* Franch. & Sav. は、*Chenopodium acuminatum* Willd. var. *acuminatum* (マルバアカザ)の異名とされている。

1384. *Atriplex littoralis* L. δ. *dilatata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 387 (1875)

“Hab. in maritimis: Nippon media, prope Yokoska (Savatier, n.1003bis).”

Yokoska, Savatier, No. 1003bis, P05408206.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1003bis) 1 シートを確認した。ただし、この標本に記されている採集者の標本番号は、“bis”ではないようにも読め、オリジナルのラベルには、*Atriplex tatatica* L. と記されている。この標本は、田中・大西・勝山 (2015) でも取り上げられている。*Atriplex littoralis* L. var. *dilatata* Franch. & Sav. は、*Atriplex subcordata* Kitag. (ハマアカザ)の異名とされている。

2700. *Rumex nipponicus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 471 (1878); 1404. *Rumex pulcher* (non. L.) Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 393 (1875)

“Hab. in scrobibus, ad vias: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n.1012). Fl. Aug.”, “Hab. in arenosis maritimis ad Kamakoura, prope Yokoska insulae Nippon (Savatier, n.1012). Fl. maj. fr. Jul.”

Kamakoura, 27 Mai 1870, Savatier, s.n., P00734533; Kamakoura, Savatier, No. 1012bis, P05411626.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1012) は見出せなかったが、関連すると思われる鎌倉で採集された標本 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00734533) には “Typus” のラベルが貼付されている。*Rumex nipponicus* Franch. & Sav. (コギシギシ) は現在も正名である。

1408. *Polygonum polyneuron* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 471-472, 478 (1878); *Polygonum maritimum* (non. L.) Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 393 (1875)

“Hab. in regione littorali: Nippon media, prope Yokoska (Savatier, n.1016).”

Yokoska, Savatier, No. 1016, P04912105.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1016) 1 シートを確認した。*Polygonum polyneuron* Franch. & Sav. (アキノミチヤナギ) は現在も正名である。

(1417). *Polygonum hydropiper* L. a. *acuminata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 474 (1878)
“Circa Yokoska in orizetis frequens.”

Yokoska, Savatier, s.n., P00734330; *ibid.*, P00734331.

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 2 シートを見出した。*Polygonum hydropiper* L. var. *acuminata* Franch. & Sav. は、*Persicaria pubescens* (Blume) H.Hara (ボントクタデ) の異名とされている。

(1430). *Polygonum thunbergii* Siebold & Zucc. β. *radicans* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 475, 480 (1878).

“Hab. in uliginosis: Yokoska; Haksan (Rein).”

Yokoska, Savatier, s.n., P05035484.

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されておらず、関連すると思われるラベルに変種名 “β. *radicans*” が記されている標本も見出せなかった。しかし、横須賀で採集された標本数点が見出され、そのうちの上を示した標本 1 シート (Yokoska, Savatier, s.n., P05035484) には、小泉源一による *Polygonum*

thunbergii Siebold & Zucc. β. *radicans* の同定票が貼付され、台紙に “Type” と記されている。ただし、この標本も含め、3 シートの標本 (Savatier, s.n., P050356374; Yokoska, Savatier, No.1037bis, P05035638) には 1985 年の C.W.Park による “var. *thunbergii*” の同定票が貼付されているが、1 シートの標本 (P05035638, Fig. 13) は *Persicaria thunbergii* (Siebold & Zucc.) H.Gross var. *hastatotriloba* (Meisn) Miyabe (オオミソヅバ) であった。なお、Yonekura (2006) は、*Persicaria thunbergii* (Siebold & Zucc.) H.Gross var. *hastatotriloba* (Meisn) Miyabe を *Persicaria thunbergii* (Siebold & Zucc.) H.Gross var. *thunbergii* の異名とし、区別していない。

1453. *Wikstroemia pauciflora* Franch. & Sav. Enum. Pl. Jap., 1(2): 406 (1875); (1453); *Wikstroemia canescens* Meisn. var. *pauciflora* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 481 (1878)
“Hab. in fruticetis regionis montanae: Nippon media, in montibus Hakone (Savatier, n.1076). In provinciâ Senano (*id.*, n.2914). Fl. Aug.”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1076) は見出せず、ラベルに変種名 “var. *pauciflora*” が記されている標本も見出せなかった。*Wikstroemia pauciflora* は、*Diplomorpha pauciflora* (Franch. & Sav.) Nakai (サクラガンピ) の基礎異名である。

1502. *Aristolochia kaempferi* Willd. a. *longifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 419 (1875), 2(2): 485 (1878)

“Hab. in sepibus circa Yokoska (Savatier, n.2719).”

Yokoska, Savatier, No. 2719, P01964027.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2719) 1 シートを確認した。この標本には 1926 年の小泉源一による “*Aristolochia Kaempferi* Willd. var. *longifolia* Franch. & Sav.” の同定票と “Isotype” のラベルが貼付されている。*Aristolochia kaempferi* Willd. var. *longifolia* Franch. & Sav. は、*Aristolochia kaempferi* Willd. (オオバウマノスズクサ) の異名とされている。

1510. *Euphorbia rochebrunei* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 421 (1875), 2(2): 485-486 (1879)

“Hab. in silvaticis circa Yokoska insulae Nippon (Savatier, n.1097bis).”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier,

n. 1097bis) は見出せなかったが、ラベルに *Euphorbia rochebrunei* Franch. & Sav. と記された標本 (P00690970, P00690972) が見出されている (田中・大西・勝山, 2015)。 *Euphorbia rochebrunei* Franch. & Sav. は、 *Euphorbia adenochlora* C.Morren & Decne. (ノウルシ) の異名とされている。

1543. *Zelkova stipulacea* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 430 (1875), 2(2): 489-490 (1878)
“Hab. in insulâ Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.1132bis).”

Yokoska, Savatier, No. 1132bis, P00721948; ibid., P00721949; ibid., P00721950; ibid., P00721951.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1132bis) 4 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00721948) には、2009 年の記入者が判読できない “Holotype” の同定票が貼付され、もう 3 シートの標本 (P00721949; P00721950; P00721951) には “Isotype” のラベルが貼付されている。 *Zelkova stipulacea* Franch. & Sav. は、 *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino form. *stipulacea* (Franch. & Sav.) Ko.Ito (メゲヤキ) の基礎異名である。

1559. *Ficus nipponica* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 436 (1875), 2(2): 491 (1878)
“Hab. in rupestribus: Nippon media, ad Yokoska (Savatier, n.1104).”

Yokoska, Savatier, s.n., P06845988; ibid., P06845989; ibid., P06845991.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1104) は見出せなかった。しかし、関連すると思われる横須賀で採集された標本 3 シートを確認した。これらの標本には、“?1104” とのメモがあり、“probable” と追記された “Isotype” のラベルが貼付されている。また、今回は標本を見出せなかったが、MNHN-DB には横須賀で採集された標本 3 シート (Savatier, No. 1104, P00756558; ibid., P00756559; ibid., P06878116) が登録されており、このうち 2 シートの標本 (P00756558; P00756559) は Type とされている。 *Ficus nipponica* Franch. & Sav. (イタビカズラ) は現在も正名である。

1572. *Elatostema densiflorum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 439 (1875), 2(2): 494-495 (1878)
“Hab. in umbrosis: Nippon media, circa Yokohama (Savatier, n.1123bis), et sine loci

indicatione, ex Tanaka. Fl.Oct.”

Yokoska, Savatier, s.n., P06816845; ibid., P00369918.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1123bis) は見出せなかった。しかし、関連すると思われる横須賀で採集された標本 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00369918.) には 2007 年の林 祐による “Isotype” のラベルが貼付されている。 *Elatostema densiflorum* Franch. & Sav. ex Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St. Petersburg, 22(2): 247-248 (1876) (トキホコリ) は現在も正名である。

1578. *Boehmeria platanifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 440-441.

“Hab. in umbrosis regionis montanae: Nippon media, in jugo Hakone (Savatier, n.1117). Fl. Aug.”

Hakone, Savatier, No. 1117, P00509774 (Fig. 14); ibid., P00509775 (Fig. 15).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1117) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00509774, Fig. 14) には 2005 年の C.M.Wilmot-Dear & I.Fris による “Holotype” の同定票が貼付され、 *Boehmeria platanifolia* (Maxim.) Franch. et Sav. ex C.H.Wright (メヤブマオ) であった。しかし、もう 1 シートの標本 (P00509775, Fig. 15) には “Isotype” の同定票が貼付されているが、 *Boehmeria maximowiczii* Nakai & Satake (オオメヤブマオ) であった。日本植物目録の *Boehmeria platanifolia* Franch. & Sav. の項は記載文を伴っておらず、 *Boehmeria japonica* (L.f.) Miq. var. *platanifolia* Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St. Petersburg, 22(2):226 (1876) として記載され、その後、C.H.Wright により、種ランクに変えられた。 *Boehmeria platanifolia* (Maxim.) Franch. & Sav. ex C.H.Wright in J. Linn. Soc., Bot., 26: 486 (1899) は、現在でも正名である。

1640. *Salix nipponica* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 459 (1875), 2(2): 502, 505 (1878)

“Hab. in silvaticis humidis: Nippon media, circa Yokoska (Savatier, n.1139); Niigata (id., n.2717). Fl. April.”

Yokoska, Savatier, No. 1139, P00761077; ibid., P00761078; ibid., P00761079.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1139) 3 シートを確認した。これらの標本には “Syntype” のラベルが貼付されている。 *Salix nipponica* Franch. & Sav. は、 *Salix triandra* L.

var. *nipponica* (Franch. & Sav.) Seemen (タチヤナギ) の基礎異名である。

1642. *Salix eriocarpa* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 459 (1875), 2(2): 503, 506 (1878).

“Hab. in locis inundatis: Nippon media, circa Hemi prope Yokoska (Savatier, n.2718).”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2718) は見出せなかった。*Salix eriocarpa* Franch. & Sav. (ジャヤナギ) は現在も正名である。

1643. *Salix japonica* Thunb. γ. *pygmaea* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 459 (1875), 2(2): 503, 505 (1878)

“Circa Yokoska”

Yokoska, Savatier, s.n., P04703454 (Fig. 16).

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。この標本は、岩の間などに生えた高さ 10cm 程度の個体だと思われる。この標本には台紙に “Type” と記されている。*Salix japonica* Thunb. var. *pygmaea* Franch. & Sav. は *Salix japonica* Thunb. (シバヤナギ) の異名とされている。

2488. *Clematis maximowicziana* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 261 (1878)

“Hab. in sepibus: Nippon, prope Yokoska semel inventa. Fl. Jul. Fr. mat. Aug.”

Yokoska, Savatier, No. 7, P00130256.

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認した。*Clematis maximowicziana* Franch. & Sav. は、*Clematis terniflora* DC. (センニンソウ) の異名とされている。

2493. *Clematis hakonensis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 263 (1878)

“Hab. in sepibus: Nippon, circa Odawara legit Dr Savatier.”

Odawara, Mai 1867, Savatier, s.n., P00125825.

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されていないが、関連すると思われる小田原で採集された標本 1 シートを確認した。また、この他、採集地が不明な標本 (Savatier, s.n., P00125836) 1 シートを確認した。この標本には、ラベルに和名が “Tetsen-Kadzaura ?” と記されている。*Clematis hakonensis* Franch. & Sav. は、*Clematis florida* Thunb. (テッセン) の異名とされている。

2525. *Eutrema hederifolia* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 283 (1878)

“Hab. ad rivulos: Nippon, in montibus Hakone legit Niewerth (Savatier, n.3822). Kiouisiou (Saba in Savatier, n.3353).”

Yokoska, Savatier, No. 3822, P05413458.

日本植物目録に引用されている横須賀で採集された標本 (Savatier, n. 3822) 1 シートを確認した。また、九州で採集された標本 (Savatier, No.3353, P02272668, Fig. 17; *ibid.*, P02272669, Fig. 18) 2 シートを確認した。この 2 シートの標本には記入者は不明だが “Syntype” のラベルが貼付されているので神奈川県外のものだが特に示した。*Eutrema hederifolia* Franch. & Sav. は、*Wasabia tenuis* (Miq.) Matsum. (ユリワサビ) の異名とされている。

2526. *Viola pycnophylla* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 285 (1878)

“Hab. in locis umbrosis collium: Nippon, circa Yokoska (Savatier, n.2182).”

Yokoska, Savatier, No. 2182, P02141149; *ibid.*, P02141150.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2182) 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P02141149) には “Holotype” のラベルが貼付され、もう 1 シートの標本 (P02141150) には “Isotype” のラベルが貼付されている。*Viola pycnophylla* Franch. & Sav. は、*Viola yezoensis* Maxim. (ヒカゲスミレ) の異名とされている。

2527. *Viola conilii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 285-286 (1878)

“Hab. in collibus circa Yokoska insulae Nippon (Savatier).”

Yokoska, Savatier, s.n., P02141061; *ibid.*, P02141062.

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 2 シートを確認した。*Viola conilii* Franch. & Sav. は、*Viola phalacrocarpa* Maxim. (アカネスミレ) の異名とされている。

2529. *Viola longepedunculata* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 286-287 (1878)

“Hab. in locis umbrosis collium: Nippon, circa Yokoska legit Dr Savatier, n.2184.”

Yokoska, Savatier, No. 2184, P02141102; *Ibid.*, Savatier, s.n., P02141103.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2184) 2 シートを確認した。これらの標本に

は“Type”のラベルが貼付され、うち1シートの標本(P02141103)には1924年の中井猛之進による“*Viola gryporses* A.gray”の同定票が貼付されている。*Viola longepedunculata* Franch. & Sav. は、*Viola grypoceras* A.Gray (タチツボスミレ)の異名とされている。

2549. *Hypericum hakonense* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 298-299 (1878)

“Hab. in locis depressis humidis tractûs Hakone (Savatier, n.158).”

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 158)は見出せなかった。日本植物目録には、次種 2551. *Hypericum thunbergii* Franch. & Sav. と同じ採集者の標本番号の標本が引用されているが、本種の記述では産地が箱根とされ、次種では横須賀とされている。*Hypericum hakonense* Franch. & Sav. (ハコネオトギリ)は現在も正名である。

2551. *Hypericum thunbergii* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 300-301 (1878)

“Hab. in locis humidis depressis: Nippon, circa Yokoska frequens (Savatier, n.158); Sagami (id.) et in tractu Hakone, in sulphuris fodinâ (id., n.3411). — E. Coraëa etiam retulit cl. de Brand.”

Yokoska, Savatier, No. 158, P04637564 (Fig. 19); *ibid.*, P04637566; *ibid.*, P04637568; *ibid.*, P04637570; Sagami, Savatier, No. 158, P04637565 (Fig. 20); Hakone, Savatier, No. 3411, P04637569; Hakone, Jun. 1875, Savatier, No.3411, *ibid.*, P04637580.

日本植物目録に引用されている横須賀で採集された標本(Savatier, n. 158)4シートと相模で採集された標本(Savatier, n. 158)1シート、箱根で採集された標本(Savatier, n. 3411)2シートを確認した。サヴァチェの採集者の標本番号 No. 158 の標本は、採集地が横須賀とされる標本(P04637564, Fig. 19 ほか)と相模とされる標本(P04637565, Fig. 20)があり、前者のうち、2シートの標本(P04637564, Fig. 19; P04637566)のラベルの記載は日本植物目録の記述を転記したようにも見える。*Hypericum thunbergii* Franch. & Sav. は、*Hypericum laxum* (Blume) Koidz. (コケオトギリ)の異名とされている。

2557. *Geranium japonicum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 305-306 (1878)

“Hab. in montibus Hakone (Savatier, n.2446bis).”

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 2446bis)は見出せなかった。*Geranium japonicum*

Franch. & Sav. は、*Geranium krameri* Franch. & Sav. (タチフウロ)の異名とされていたが、Hara (1955)により、その基準標本は、*Geranium eriostemon* Fisch. (ゲンナイフウロ)であるとされた。しかし、神奈川県植物誌調査会編(2001)によると、箱根にはゲンナイフウロは分布しない。

2559. *Geranium robertianum* L. var. *glabrum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 307 (1878)

“Hab. in locis lapidosus tractûs Hakone, unde unicum specimen reportavit Dr Savatier. Provincia Omi (Keiske ex icone).”

Hakone, Savatier, No. 1115, P00757896.

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されていないが、関連すると思われる箱根で採集された標本1シートを確認した。この標本には1999年のC. Aedoの“Type”の同定票が貼付されている。*Geranium robertianum* L. var. *glabrum* Franch. & Sav. は、*Geranium tripartitum* R.Knuth (コフウロ)の異名とされている。

2601. *Chrysosplenium discolor* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 359-360, 364 (1878).

“Hab. in locis humidis umbrosis: Nippon, in montibus Hakone et in tractu Nikô detexit Dickins (Savatier, n.3729, 3826). Fl. fr. Jun. Oct.”

Hakone et in tractu Niko?, 30. Aug. 1872, Savatier, No. 3729, P00709304.

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 3729)1シートを確認した。この標本のラベルには上に示した“Hab.”以下の日本植物目録の記述が記され、記入者は不明であるが“Syntype”の同定票が貼付されている。また、この他、採集者の標本番号が記されていない箱根で採集された標本(Savatier, s.n., P03198904)1シートも見出した。*Chrysosplenium discolor* Franch. & Sav. は、*Chrysosplenium macrostemon* Maxim. (ミヤマネコノメ)の異名とされている。

2627. *Aralia nutans* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 376-377 (1878)

“Hab. in montibus Hakone ubi legit Dickins, floribus sub medio octobris nondum explanatis (Savatier, n.3835).”

Hakone, Dickins & Savatier, No. 3835, P02428463 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本(Savatier, n. 3835)1シートを確認した。この標本には、2006年のJun Alenによる“Holotype”の同定票が貼付されている。また、今回は標本を見出せなかつ

たが、MNHN-DB では 1 シートの標本 (Hakone, Savatier, No. 3835, P02428464) が *Isotype* とされている。*Aralia nutans* Franch. & Sav. は、*Aralia cordata* Thunb. (ウド) の異名とされている。

2628. *Acanthopanax trichodon* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 377, 379 (1878)

“Hab. in montibus Hakone (Savatier); in insula Nippon boreali legit Hogg (Id., n.3717).”

1875, Hogg & Savatier, No. 3717, P02422314; Hakone, Aug 1867, Savatier, s.n., P 02286559 (MNHN-DB).

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3717) 1 シートと関連すると思われる箱根で採集された標本 1 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P02422314) には 1997 年の C.H.Kim による “Syntype” の同定票が貼付され、もう 1 シートの標本 (P 02286559) には “Type” のラベルが貼付されている。*Acanthopanax trichodon* Franch. & Sav. (ミヤマウコギ) は現在も正名である。

2629. *Acanthopanax japonicus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 377-378, 380 (1878)

“Hab. in fruticetis regionis montanae: Mianosta in tractu Hakone (Savatier, n.3437). Fl. jul.”

Hakone, 17 Jun. 1875, Savatier, No. 3437, P P022865521 (MNHN-DB) .

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 3437) 1 シートを確認した。この標本には “Holotype” のラベルが貼付されている。また、この他、日本植物目録には引用されていないが、箱根で採集された標本 (Savatier, No. 3457, P022865522 (MNHN-DB)) 1 シートも確認した。この標本には 1997 年の C.H.Kim の “Syntype” の同定票が貼付されている。*Acanthopanax japonicus* Franch. & Sav. (オカウコギ) は現在も正名である。

(856). *Inula salicina* L. a. *genuina* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 401-402 (1878); *Inula involucrata* (non. Miq.) Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 1(2): 230 (1875)

“Hab. in montibus hakone et circa Yokoska, in solo argilaceo inter dumeta (Savatier).”

Yokohama, Août 1877, Diek. & Savatier, s.n., P02803816.

日本植物目録には採集者の標本番号が明示された標本は引用されていないが、関連すると思われるラベルに変種名 “a. *genuina*” が記されている横浜で採集された標本 1 シートを確認した。

日本植物目録には、横浜の記録はないが、特に取り上げた。*Inula salicina* L. var. *genuina* Franch. & Sav. は、*Inula salicina* L. var. *asiatica* Kitam. (カセンソウ) の異名とされる。

2467. *Cnicus comosus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 409-410 (1878)

“Hab. circa Yokoska, rarior.”

Yokoska, Savatier, s.n., P00705669; *ibid.*, P00705670.

日本植物目録には標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00705670) には “Type” のラベルが貼付されている。*Cnicus comosus* Franch. & Sav. は、*Cirsium nipponicum* (Maxim.) Makino var. *comosum* (Franch. & Sav.) Kitam. (イガアザミ) の基礎異名である。

2657. *Nabalus nipponicus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 420 (1878)

“Hab. in tractu Hakone (Savatier, n.664); in alpe Nikô (Rein in Savatier, n.3024).”

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 664) は見出せなかった。しかし、採集者の標本番号が記されていない日光で採集された標本 (Savatier, s.n., P00750247; *ibid.*, P00750248) 2 シートを確認した。これらの標本には台紙に “Type” と記されている。*Nabalus nipponicus* Franch. & Sav. は、*Prenanthes acerifolia* (Maxim.) Matsum. form. *nipponica* (Franch. & Sav.) Matsum. & Koidz. (フクオウニガナ) の基礎異名である。

2674. *Ligustrum medium* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 437 (1878)

“Hab. circa Yokoska in sepibus (Savatier).”

Yokoska, Savatier, s.n., P04065087 (Fig. 21); *ibid.*, P04065088; *ibid.*, P04065089.

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 3 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P04065088) には 1924 年の 中井猛之進 による “*Ligustrum japonicum* Thunb. (ネズミモチ)” の同定票が貼付されている。これらの標本は、花序の基部が幅広く、*Ligustrum ovalifolium* Hassk. (オオバイボタ) のようでもあるが、さらに検討が必要である。*Ligustrum medium* Franch. & Sav. は、*Ligustrum ovalifolium* Hassk. var. *hisauchii* (Makino) Noshiro (オカイボタ) の異名とされている。

2675. *Vincetoxicum vernyi* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 438-439, 447 (1878).

“Hab. circa Yokoska, ubi unicum specimen invent Dr Savatier.”

Yokoska, Savatier, s.n., P03872296 (Fig. 22).

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートを確認したが、*Cynanchum japonicum* C.Morren & Decne. (イヨカズラ) であった。この標本には台紙に “Type” と記されている。*Vincetoxicum vernyi* Franch. & Sav. は、*Cynanchum × purpurascens* C.Morren & Decne. (ムラサキズメノオゴケ) の異名とされている。

2686. *Capsicum anomalum* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 452-453 (1878)

“Hab. in Japoniâ (Tanaka); in regione inferiori montium Hakone et Nikô (Savatier, n.2166).”

Hakone, 30 Aug 1871, Savatier, s.n., P00279724; Hakone, 1871, Savatier, s.n., P00279726; ibid., P00279735; Hakone, Savatier, s.n., P00279725; ibid., P00279733.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 2106) は見出せなかったが、関連すると思われる箱根で採集された標本 5 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00279733) には “Lecttype” のラベルが貼付されている。*Capsicum anomalum* Franch. & Sav. は、*Tubocapsicum anomalum* (Franch. & Sav.) Makino (ハダカホオズキ) の基礎異名である。

2701. *Polygonum gymnopus* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 472, 478 (1878).

“Hab. in locis humidis: Nippon, circa Yokoska (Savatier).”

Yokoska, Savatier, No. 1015, P00734329 (Fig. 23); Yokoska, Savatier, s.n., P 未登録 (Fig. 24).

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されていないが、関連すると思われる横須賀で採集された標本 2 シートを確認した。このうち 1 シートの標本 (P00734329, Fig. 23) には 1926 年の小泉源一の “*Polygonum propinquum* Ledeb.” の同定票が貼付され、台紙に “Type” と記されている。もう 1 シートの標本 (P 未登録, Fig. 24) は P の標本番号が貼付されておらず、未登録のようである。これらの標本は *Polygonum aviculare* L. (ミチヤナギ) であった。Yonekura (2006) は、*Polygonum gymnopus* Franch. & Sav. を *Polygonum polyneuron* Franch.

& Sav. (アキノミチヤナギ) の異名にしており、今後の検討が必要である。

2713. *Lindera obtusa* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 483-484 (1878).

“Hab. in tractu Hakone, unde duo tantum specimina reportavit Dr Savatier.”

日本植物目録には採集者の標本番号が明記された標本は引用されておらず、関連する標本は見出せなかった。*Lindera obtusa* Franch. & Sav. は、*Lindera umbellata* Thunb. (クロモジ) の異名とされている。

2724. *Salix multinervis* Franch. & Sav., Enum. Pl. Jap., 2(2): 504-505, 506 (1878)

“Hab. in locis humidis insulae Nippon; Sagami (Savatier, n.1145); Tatteyama, prope Yokoska (id.). Fruct. april. fl. masc. sub initio martis.”, “*Salix* sp., n.1145 (1654bis) Franch. & Sav. Enum.I, p.462 in nota.”

Sagami, Savatier, No. 1145, P04703570; Tatteyama, prope Yokoska, Savatier, No. 1146, P04823086.

日本植物目録に引用されている標本 (Savatier, n. 1145) 1 シートを確認した。また、その他、関連すると思われる横須賀で採集された標本 1 シートも確認した。これらの標本には、台紙に “F. S. Type” と記されており、前者の標本 (P04703570) には、1926 年の小泉源一による “*Salix integra* Thunb. (コリヤナギ)” の、後者の標本 (P04823086) には、同 “*Salix purpurea* L. (セイヨウコリヤナギ)” の同定票が貼付されている。また、今回は標本を見出せなかったが、MNHN-DB では 1 シートの標本 (Savatier, No. 44, P00761075) が Type とされている。*Salix multinervis* Franch. & Sav. は、*Salix integra* Thunb. (イヌコリヤナギ) の異名とされている。

謝辞

フランス国立自然史博物館の Marc Jeanson 博士に標本調査でお世話になった。記して感謝の意を表す。また、本研究の一部は JSPS 科研費 23501234 の助成を受けて行われた。

引用文献

- Franch, A. & L. Savatier, 1873-1875. Enumeratio plantarum in japonia sponte crescentium, accedit determinatio herbarum in libris japonicis So-Mokou Zoussets xylographice deloneatarum. Vol. 1. 15+485pp. F. Savy, Paris.
- Franch, A. & L. Savatier, 1877-1879. Enumeratio

plantarum in Japonia sponte crescentium : hucusque rite cognitarum, adjectis descriptionibus specierum pro regione novarum, quibus accedit determinatio herbarum : in libris japonicis So Mokou Zousetz, Xylographice delineatarum. Vol. 2. 789+3pp. F. Savy, Paris.

Hara, H., 1955. Critical notes on some type specimens of East-Asiatic plants in foreign herbaria (1). *Journal of Japanese Botany*, **30**: 19-26.

神奈川県植物誌調査会編, 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1582pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

西野嘉章・C. Porak, 2011. 日本近代植物学黎明期における日仏協働の実相—リュドヴィク・サヴァティエの遺産から. 植物研究雑誌, **86**: 170-188.

大場秀章, 1996. 黎明期の日本の植物研究. 大場秀章編著, 日本植物研究の歴史, 小石川植物園 300 年の歩み. pp. 67-83. 東京大学総合研究博物館, 東京.

大場秀章, 2003. 日本植物の研究を競った欧米諸国. 大場秀章編, シーボルトの 21 世紀. pp. 119-129. 東京大学総合研究博物館, 東京.

Ohba H., 2000. The Type and Identity of *Rosa luciae* Rochebr. & Franch. ex Crép. and the Varieties Described by Franchet and Savatier. *Journal of Japanese Botany*, **75**: 148-163.

小崎昭則, 2001. 神奈川県 (一部、隣接地域を含む) を基準産地とする維管束植物 (化石を除く) の学名. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2001. pp. 1485-1527. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

竹中祐典, 2013. 花の沫—植物学者サヴァチエの生涯—. 262pp. 八坂書房, 東京.

田中徳久・勝山輝男・大西 亘, 2015. フランシェとサヴァチエが記載した神奈川県産シダ植物と単子葉植物の基準標本. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (44): 23-48.

田中徳久・大西 亘・勝山輝男, 2015. サヴァチエが採集した植物標本に残る神奈川県の絶滅植物. 神奈川自然誌資料, (36): 11-20.

田中徳久, 2016. 神奈川県の地域植物相の重要な記録となる標本. 神奈川自然誌資料, (37): 1-10.

Yonekura K., 2006. Polygonaceae. Iwatsuki, K., D. E. Boufford & H. Ohba eds., Flora of Japan, 2a. pp. 122-174. Kodansha, Tokyo.

米倉浩司・梶田忠, 2003 —. BG Plants 和名-学名インデックス (YList). Online. Available from internet: http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html (downloaded on 2014-10-1).



Fig. 1. *Ranunculus silerifolius* H.Lév. var. *silerifolius* (Yokoska, 1867, Savatier, s.n., P00171119).



Fig. 2. *Ranunculus silerifolius* H.Lév. var. *silerifolius* (Yokoska, Savatier, No. 23, P00171120).



Fig. 3. *Silene gallica* L. (Yokoska, Mai 1868, Savatier, No. 120, P05019170).



Fig. 4. *Stephanandra tanakae* Franch. & Sav. (Kameide, Savatier, No. 338bis, P).



Fig. 5. *Stephanandra tanakae* Franch. & Sav. (Fudsiyama, 1873, Savatier, No. 338bis, P).



Fig. 6. *Duchesnea chrysantha* (Zoll. & Moritz) Miq. (Yokoska, Savatier, No. 357, P03147294).



Fig. 7. *Potentilla chinensis* Ser. (Yokoska, Savatier, No. 1, P03338372).



Fig. 8. *Chrysosplenium japonicum* (Maxim.) Makino (Yokoska, Savatier, No. 462, P).



Fig. 9. *Chrysosplenium japonicum* (Maxim.) Makino (Yokoska, Savatier, No. 462, P).

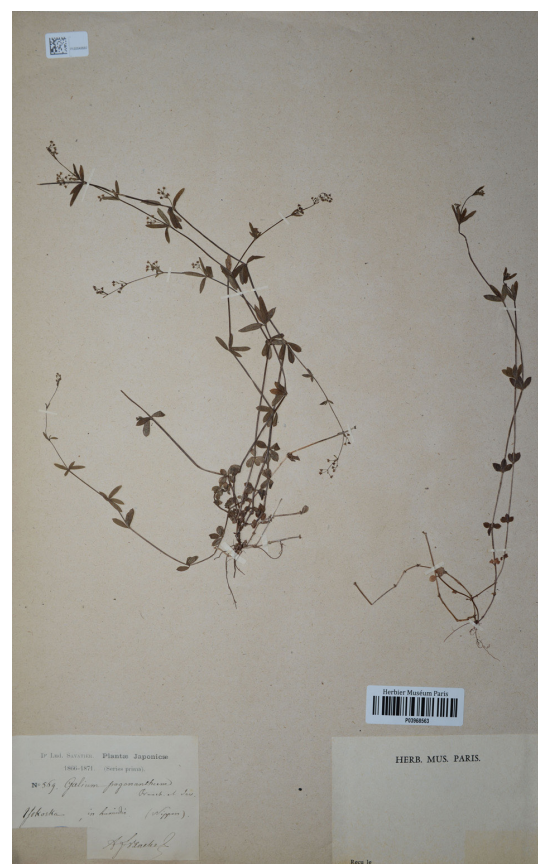


Fig. 10. *Galium gracile* (A.Gray) Makino ? (Yokoska, Savatier, No. 569, P03968563).



Fig. 11. *Lindernia antipoda* (L.) Alston var. *grandiflora* (Hook.f.) Tuyama (Yokoska, Savatier, No. 895, P03399416).



Fig. 12. *Salvia japonica* Thunb. form. *chinensis* (Benth.) Kudô (Yokoska, Savatier, No. 967, P02887977).



Fig. 13. *Persicaria thunbergii* (Siebold & Zucc.) H.Gross var. *hastatotriloba* (Meisn) Miyabe (Yokoska, s.n., P05035638).



Fig. 14. *Boehmeria platanifolia* (Maxim.) Franch. et Sav. ex C.H.Wright (Hakone, Savatier, No. 1117, P00509774).



Fig. 15. *Boehmeria maximowiczii* Nakai & Satake (Hakone, Savatier, No. 1117, P00509775).



Fig. 16. *Salix japonica* Thunb. (Yokoska, Savatier, s.n., P04703454).

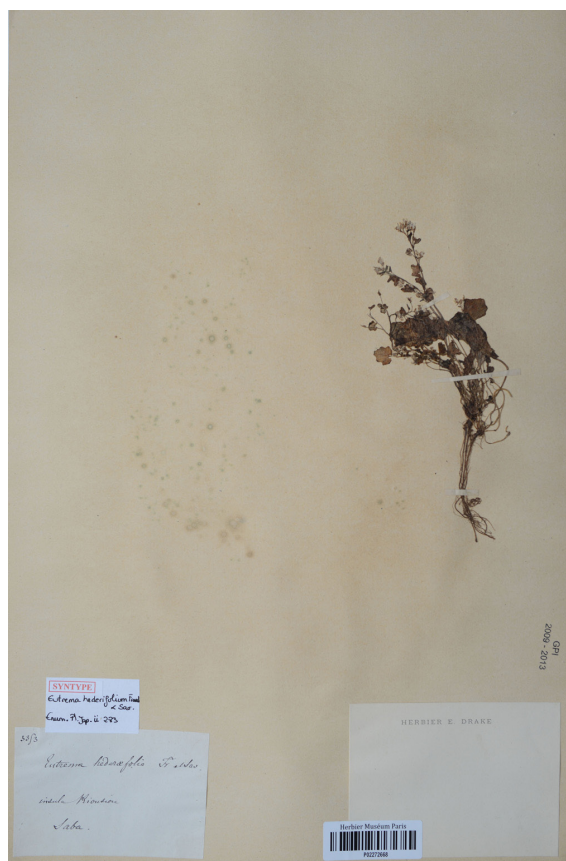


Fig. 17. *Wasabia tenuis* (Miq.) Matsum. (Kiusiu, Savatier, No. 3353, P02272668).



Fig. 18. *Wasabia tenuis* (Miq.) Matsum. (Kiusiu, Savatier, No. 3353, P02272669).



Fig. 19. *Hypericum thunbergii* Franch. & Sav. (Yokoska, Savatier, No. 158, P04637564).



Fig. 20. *Hypericum thunbergii* Franch. & Sav. (Sagami, Savatier, No. 158, P04637565).



Fig. 21. *Ligustrum ovalifolium* Hassk. ? (Yokoska, Savatier, s.n., P04065087).



Fig. 22. *Cynanchum japonicum* C. Morren & Decne. ? (Yokoska, Savatier, s.n., P03872296).

